

第4回統合準備会での委員からの意見まとめ

【議題】学校統合における課題や決定すべき事項について

《グループ協議》

1. 学校活動・PTA 組織検討グループ

《検討項目》

① 授業で使う副教材について

- ・使用する副教材は複数種から選んでおり、学年や担任で決めている。両校とも同様の方法を取っている。
- ・両校とも負担を少なくするために、副教材は最低限度にとどめる。

●長く使用するものについて

- ・リコーダーは小中川小と松長小でメーカーが違っているが、新しく買い揃える場合には、同じメーカーのリコーダーを選定することで対応する。
- ・体操着は、現時点で購入の必要はないと考える。それぞれの学校の体操着を着用していても、買い替えたとしても、どちらでも対応できるよう学校として子どもたちを指導していく。

●買い替える必要のあるものについて

- ・名札は学年の入れ替わりの時に新しくする。値段は100円程度。

② 学校施設について

- ・現状として、統合してもクラス数は増えない。
- ・松長小児童50人が入学しても、学校施設としての許容は十分である。
- ・今年度は、特別支援学級については3クラス設置している。
- ・学区外就学でスクールバスを利用する児童が増えることから、バスの乗降場所を検討している。現在は、東側が徒歩下校する児童、西側がスクールバス利用児童と危険のないよう区別しているが、今後人数が増えた場合に事故が起こらないようにしていきたい。

【対策案】

- ・バスを一方通行にする
- ・乗降の動線に先生を配置する
- ・プール、遊具施設を撤去して駐車場を確保する
- ・職員の駐車場をバスの駐車場にする（安全確保が課題） など

2. 通学路・安全対策検討グループ

《検討項目》

- ① 通学路の安全対策について
- ② 地域の学校支援体制について

- ・安全確保面では、保護者や地域ボランティアが集合場所まで児童を見送る体制が大切ではないか。
- ・集合場所を設定するにあたり、児童や地域の方が危険箇所について認識できるようにハンドブック等で示してあったほうがいい。製作にあたっては、関係者や地域、保護者の協力と、危険箇所について共通認識を持つことが必要。
- ・安全見守りには地域の方に意識をしてもらうことが必要。他市町村は子どもたちが下校の時間になると防災無線でアナウンスが入り、地域の方が見守っている事例もある。アイデアを出したい。
- ・まずは集合場所が決まらなければ安全対策について検討が進まない。

【バス停（案）】※みらい通信に掲載して周知したほうがよい。

- ①長所集会所→松長公民館（館野児童）→草薙神社→学校到着
- ②長所集会所→長所団地→松長公民館（館野児童）→草薙神社→学校到着
（※団地居住の児童が多いことから団地を経由する）
- ③全員が松長公民館に集合→学校到着



協議を継続していくこととする。